令和５年９月２２日

東京都内　各高等学校・中等教育学校各位

総合学習・国際教育・国際交流・ESD等担当者各位

東京都国際教育研究協議会

会長　江森　忍　（公印省略）

（東京都立農産高等学校長）

**国際理解及び国際協力に関する研究発表会について**

**（発表団体の募集）**

初秋の候、季節を感じつつ、過ごしやすい季節となってまいりました。政府提言通り行動制限のない夏を無事終えることができ、高校生の皆様、各学校でも平常を取り戻しつつあることと存じます。

さて、今年度の研究発表会は、感染症対策を徹底し、下記のとおり大学の会場にて

共同開催をする運びとなりました。開催時の情勢によっては、変更の可能性もございますが、ご了承ください。

記

１　目的

高校生や附属中学生による、国際理解・国際協力・国際ボランティア等の活動報告または研究発表の場を設定し、各校・各団体での活動を振り返り、研究や実践の成果を発表活動をとおして、多くの人々にすばらしい活動を知ってもらうとともに、国際理解・国際協力・国際ボランティアなどの分野で活躍する生徒の連携・発展・活性化を目指していきます。

２　実施日　令和５年１２月９日（土）　１４：００～１７：００

受付開始　　１３：３０～

３　会場　　拓殖大学　文京キャンパス（茗荷谷）

　〒１１２－８５８５

東京都文京区小日向３－４－１４

東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車　徒歩３分

東京メトロ有楽町線「護国寺駅」下車　徒歩１２分

４　実施時程　１３：３０　　受付開始

１４：００　　各高等学校の発表

１５：００　　大学生による研究発表及び高校生、大学生との交流会

１６：００　　講評（各校へのアドバイスなど）

　　審査発表

 ワークショップ・拓殖大学の紹介・立命館アジア太平洋大学の紹介

　　　　　　　１７：００　　終了予定

５　発表内容及び発表時間

大学生・高校生（附属中学生）による国際理解・国際協力・国際ボランティア等に関する内容で、活動報告または研究発表とします。視聴覚機器等を使用して８分以内で発表した後、発表内容に関する質疑応答を２分程度行います。発表生徒は各団体とも、高校生を主体とする1～８名程度とします。高校生個人の研究発表でも、学校を基盤とするものは可とします。

なお、**各校でデーターの入った機器（パソコン不可）**をご用意いただき、会場校施設のパソコンとプロジェクターに接続する形をとりたいと思います。**各校でUSBメモリーをご用意ください。**

６　審査内容

　　「全国国際教育研究大会の審査基準」に基づき、審査を行います。

審査基準と配点

＜発表内容７０点＞

〇国際教育の目的やテーマにあった内容構成か　〇持続可能性　〇計画性

〇生徒自身の主体性または独創性　〇成果は理論的・客観的に検討されているか

〇国際的な視野を広げるために役立つもので、その地域・その学校ならではの活動か

＜発表３０点＞

〇発表にかかわる準備と機器等の活用が適切か　〇質疑に対して適切な応答ができたか

〇発表のしかた（声の大きさと話し方）や態度が適切で工夫されていたか

なお、審査結果にかかわらず、２０２４年８月に岩手にて開催予定の第６１回全国国際教育研究大会の公募に応募することができます。

７　審査委員（予定）

　　東京都教育委員会、JICA東京、拓殖大学国際学部、立命館アジア太平洋大学サステイナビリティ観光学部、国際開発ジャーナル他

８　発表申込の締め切り及び問い合わせ・申し込み先

　令和５年１０月２７日(金)までに、①団体名または学校名、②発表のテーマ、③代表者または引率者の氏名、④参加人数（引率者〇名、発表者〇名）⑤E-mailアドレス及び連絡先を、下記事務局までご連絡ください。

東京都立科学技術高等学校：坂本美香　　　申込用E-mailアドレス：sgh@jafie.jp

（学校電話：03-5609-0227）

９　発表の要旨の提出

　　１１月１７日（金）までに上記７のアドレスへ、以下の内容を「Ａ４版１枚」にまとめ、提出してください。**（＊事前に審査員に原稿を読んでいただくので、締め切りを守ってください。）**

1. 学校名または団体名
2. 研究に参加した生徒の学年と氏名
3. 研究のテーマまたはタイトル
4. 研究の内容
	* 1. 研究発表を通して伝えたいこと
		2. 動機や課題発見、目標やねらい
		3. 具体的な取り組み内容及び工夫・配慮した点（実施日・期間、主な実施場所、取り組みへの参加者及び人数などもわかるように記載してください）
		4. 生徒自身の成果、外部からの評価
		5. 今後の展開・展望・実践計画